

平成20年度事業報告

教育の原点であったはずの家庭教育・学校教育・地域教育は、現在多くの課題を抱えています。その原因には、地域社会の変容など社会全体の在り方の問題、いじめや不登校などの学校への不適応、家庭における基本的なしつけの不足など様々な要因があげられます。

そのような状況の中、当協会では、地域活動の底上げを図り、「地域の教育力」を再生できるような各種事業を各市町村民会議や関係機関と協働しながら推進し、相互の連携強化を図り、幅広い県民を巻き込みながら、元気な和歌山の青少年の育成に努め、「地域の教育力」の再生が学校教育や家庭教育の活性化につながるよう努めました。

また、新規事業では、「地域活性化支援事業」、「ふるさと資源体験交流事業」などを実施し、継続事業についても「家庭の日」関連事業を中心に効果的に取り組みました。

なお、指定管理者制度の導入による活動センターの管理についても、今年度、指定管理者としての最終年度に当たり、より一層利用しやすい環境づくりを推進しました。

1 推進体制と財政基盤の充実

大人一人ひとりが地域の一員であることを自覚し、地域住民が総ぐるみで元気な和歌山の青少年を見守り育てるという気運の醸成を図り、安心安全な環境づくりを推進しました。

また、青少年育成県民運動をより一層活発化させるため、効果的な事業の展開や各市町村民会議及び関係団体と協働し、協力が得られるよう支援しました。

さらに、当協会の活動に賛同していただける新規会員の加入促進や民間助成金の活用などを工夫検討することで財政基盤の充実に努め、会員に対しても、情報の提供など積極的に行いました。

- ①通常総会 平成20年6月14日（土）
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛大ホール
・記念講演「地域で取り組める食育について」
和歌山信愛女子短期大学 生活文化科 准教授 藤澤祥子 氏
- ②理事会 平成20年5月21日（水）
平成20年10月20日（月）
平成21年3月25日（水）
- ③会員数 正会員 501名（個人会員378名、団体会員123件）
賛助会員 230件
計731件

2 活力ある地域活動の推進と意識啓発

(1) 市町村民会議等の活動支援と体制強化

各市町村民会議等が効果的に青少年の健全育成を推進できるように日常、地域の最前線で青少年の健全育成に携わっている青少年育成県民運動推進委員との連携強化に努め、各市町村で実施される事業等へ積極的な支援を行いました。

①市町村民会議等代表者会議の開催

各市町村民会議等の関係者が参加し、各市町村が抱える課題や問題点について情報交換を行い、今後の育成活動の取組の参考にするため開催しました。

また、当協会が実施する事業についての理解を求め、市町村との連携・協働ができるような体制づくりを推進しました。

開催日	場 所	対 象	参加人数	内 容
○紀北ブロック 平成20年12月15日(月)	岩出市総合保健福祉センター (岩出市)	和歌山市・海草・ 那賀・伊都地方	25名	◎平成20年度事業経過報告 ◎平成21年度事業計画(案)説明
○紀中ブロック 平成20年12月11日(木)	日高総合庁舎別館 (御坊市)	有田・日高地方	25名	◎各市町村取り組み状況報告 ◎事例報告
○紀南ブロック 平成20年12月12日(金)	西牟婁総合庁舎 (田辺市)	西牟婁・東牟婁 地方	19名	

(2) 青少年育成アドバイザーに対する支援

青少年育成アドバイザー会が月2回実施する電話相談「青少年相談～はじめのいっぽ」を支援し、活動補助金(50千円)を交付しました。

(3) 情報ネットワークの推進

各関係機関や関係団体等の啓発物等を携えて、各市町村を訪問しつつ、意見交換や情報の収集を行い、より一層の連携強化と活動の充実を図りました。(4回実施)

また、協会会員に対する情報提供を積極的に行いました。

(4) 機関紙「やまびこ」の発行

各方面に紙面作りを依頼し、幅広い角度から協会事業や各地方での取組等の広報に努め、青少年育成県民運動に対する理解の浸透を図りました。

(発行回数 1回 平成21年3月)

(5) 児童・生徒の安全確保への取り組み

警察や教育委員会、関係団体と連携し、通学路等の安全確保について、情報収集並びに提供を行いました。

また、声かけ活動やパトロール活動をしている団体に対する支援を行いました。

(6) 「夏の子どもを守る運動」(7月1日～8月31日)の推進(県共催事業)

夏期における青少年の非行防止や犯罪被害、川や海での事故などを防止するため、関係機関等と連携し様々な取組を行いました。

開 催 日	場 所	参加人数	内 容
平成20年7月16日(水)	山東小学校	62名	水難事故時の対処法
平成20年9月4日(木)	笠田小学校	92名	(ペットボトル浮き、着衣水泳方等)

3 青少年活動の推進と居場所づくり

多様化する社会環境の中で、和歌山の青少年が、他者に思いやりを持って、たくましく生きるための力を育むためには、異世代交流や自然体験活動などが出来る居場所が必要です。

青少年がその誇りと責任について自覚を高め、自信を持つために、多様な人間関係を築き、様々な体験を通じて社会性や人とのつきあい方を身につける機会を提供する事業を実施しました。

(1) 「少年メッセージ2008」和歌山県大会の開催（第30回記念大会）

中学生が、日常生活の中で感じ、考えていることをテーマに作文を各地方ごとに募集し、選ばれた42名のメッセージをを広く県民に訴えることにより中学生に対する大人の理解を深めるとともに、中学生の社会参加と意識啓発の促進を図るため開催しました。

なお、金賞を受賞した紀の川市立貴志川中学校3年中村彩音さん「想いを音に乗せてー私が今できることー」は近畿・中部ブロック代表として「少年の主張全国大会」に出場し、青少年育成国民会議会長奨励賞を受賞しました。

開催日	会場	応募者数	大会出場者
平成20年8月2日（土）	上富田文化会館文化ホール	12,095	42名の内、発表者22名

(2) 少年リーダー等研修

少年メッセージ県大会発表者を対象に、他府県の施設を見学し、見聞を広めることで郷土に誇りを持ち、自ら考え、行動する能力を身につけた青少年リーダーの養成を目的に開催しました。

開催日	対象者	研修地
平成20年8月19日（火）～20日（水）	少年メッセージ県大会発表者(7名参加)	「私のしごと館」（京都府）他

(3) 「家庭の日」運動の推進

家庭でのしつけの在り方や保護者の役割、家族のふれあいの大切さなどを再認識するため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、明るい家族づくりの推進と絆づくりを促進しました。

①家庭の日標語・絵画・写真作品募集事業

「ふれあいとやすらぎ」をテーマに家族にまつわる標語・絵画・写真を募集し、作品に表現された家庭像をもって広く県民の理解を得るための啓発活動を行うとともに、優秀作品を使用したカレンダーを1,500部作成し、各関係者に配布し、啓発に努めました。

区分	応募総数	入選数
標語の部	196点	10点
絵画の部	467点	10点
写真の部	2点	該当作品なし

②「家族のふれあい優待制度」（県委託事業）

民間企業等の協力を得て、「家庭の日」等に協賛店舗を訪れると料金割引や各種サービスが受けられる制度を実施し、家族でふれあう機会を提供しました。

協賛店舗・施設は約680で、特設ホームページの開設や優待券付きチラシ90,000部の作成により利用促進に努めました。

③啓発促進事業『家族そろって新入生』リーフレットの作成（共同募金会助成事業）
 小学校入学直前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭での教育やしつけに関して、保護者と子どもを応援するための啓発リーフレットを13,000部作成し、県内の保育園、幼稚園を通じ配布し、親子関係の再認識や明るい家庭づくりを推進しました。

④「家族そろって新入生」－親も学ぼう－セミナーの開催
 上記③『家族そろって新入生』リーフレットをテキストにしてセミナーを開催し、子育てに悩む保護者を応援しました。

開催日	研修内容	場所	参加人数
平成20年4月19日（土）	「家族そろって新入生－親も学ぼうセミナー」（からだ）	和歌山県青少年	10名
平成20年5月17日（土）	「家族そろって新入生－親も学ぼうセミナー」（こころ）	活動センター活動室	16名

5（2）育成活動及び団体の支援等（活動センター事業）と重複しています。

（4）青少年健全育成県民大会（県共催事業）

11月の「全国青少年健全育成強調月間」に際して、家庭・地域・学校・職場・行政が一体となった健全育成運動の気運の高揚と県民の理解と自覚を促すため開催しました。

開催日・場所	内容	参加人数
平成20年11月6日（木） 県民文化会館小ホール（和歌山市）	○各表彰関係 ○ミニコンサート ○舞踊披露 ○基調講演 感動!!!で「生きる底力」を育む教育とは。	約400名

（5）青少年健全育成活動の奨励と顕彰

青少年団体・グループが開催する交流イベント等に協力するとともに、青少年の団体活動への参加を奨励しました。

①優れた活動を行っている青少年育成指導者並びに青少年団体を表彰しました。

【会長表彰】（個人5名）

上野山 幸子（和歌山市） 坂口 雅代（海南市） 山下 充洋（田辺市）
 瀬田 幸次郎（田辺市） 清水 辰見（すさみ町）

【会長表彰】（団体2団体）

和歌山児童合唱団（和歌山市） NPO紀州お祭りプロジェクト（和歌山市）

【会長感謝状】（団体1団体）

社会福祉法人和遊協社会福祉事業協力会（和歌山市）

②（社）青少年育成国民会議が行う顕彰事業に対し、候補者を推薦し表彰状を伝達しました。

【社団法人青少年育成国民会議会長表彰】（個人1名）

平井 侑子（紀の川市）

【社団法人青少年育成国民会議会長表彰】（団体1団体）

日本ボーイスカウト那賀第1団（紀の川市）

(6) わかやまキッズふるさと資源探検隊交流事業（新規事業・県委託事業）

和歌山県内外の子ども達が、県内各地域の人々との交流を行い、ふるさとの魅力ある自然・歴史・文化資源を体験学習し、明るく元気な青少年を育成するため県内8地方で開催しました。

開催日	地方名	実施内容	参加人数	受入団体名
平成20年8月8日(金)～10日(日)	和歌山市	ホームステイ、勾玉づくり、よさこい踊り体験等	19名	海友会 和歌山ブロック
平成20年8月22日(金)～24日(日)	海草地方	蒔絵体験、つつてん体験、黒江周辺探検等	46名	海草地方青少年育成推進委員等連絡協議会
平成21年3月20日(金)～22日(日)	那賀地方	ホームステイ、ハイキング、間伐材を使用した工作等	43名	海友会和歌山オーストリア青年交流実行委員会
平成21年3月20日(金)～22日(日)	伊都地方	高野山散策、紙すき体験、林業体験等	50名	紀北青少年の家運営協議会
平成20年8月8日(金)～10日(日)	有田地方	そば打ち体験、イチゴ収穫、ジャムづくり体験等	40名	有田地方青少年「元气和歌山」未来づくり事業実行委員会
平成20年8月8日(金)～10日(日)	日高地方	ホームステイ、農業体験、川遊び等	48名	ゆめ倶楽部21
平成20年8月5日(火)～7日(木)	西牟婁地方	野外炊事、星空観測、川遊び等	40名	上富田町青少年育成町民会議
平成21年3月25日(水)～27日(金)	東牟婁地方	パン・ピザ作り・自然観察・農業体験等	43名	NPO共育学舎

(7) 青年団体活動支援事業（新規事業）

地域で様々な活動を継続していくには、指導者となる人材の育成が必要不可欠です。様々な団体の指導者の育成方法について意見交換することで、今後の団体活動の参考となる研修会を開催しました。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
平成21年2月13日(金)	ガーデンホテルナヨ(田辺市)	○団体活動報告 ○分科会 ○全体会	60名

4 地域指導者の養成と活動支援

地域ぐるみで青少年がよりよい環境の中で心身共に健全に育成されるためには、日々、地域の最前線で活躍する指導者の能力・資質の向上が必要です。そのため、各種研修会を開催し、指導者のすそ野を広げ、指導者相互の連携も深め活動の活性化を図りました。

(1) 地域指導者研修会の開催

地域活動の活性化を図るため、各地方において活躍している指導者及び市町村民会議の役職員等を対象に研修会を開催しました。

開催日	会 場	参加人数	内 容
平成20年5月11日(日)	ホテルモーア(白浜町)	100名	○手品、バルーンアート、工作等の研修

①県青少年育成推進委員会連絡協議会・各ブロック別青少年育成県民運動推進委員等連絡協議会（8ブロック）並びに県民運動推進委員（67名）に活動費を交付しました。

対 象	補助額
県青少年育成県民運動推進委員会連絡協議会補助	50千円
各ブロック別青少年育成県民運動推進委員等連絡協議会補助	800千円（1ブロック100千円）
各地方青少年育成県民運動推進委員活動補助	335千円

②各地域で取り組んでいる活動内容を知ること、地域での育成活動を充実させる参考とし、青少年育成県民運動推進委員相互の連携と資質の向上を強化するため、研修会を開催しました。

開催日	会場	参加人数	内容
平成20年5月12日（月）	ホテルシーモア白浜町	62名	○活動事例報告○講演「青少年を取り巻く有害環境と地域での取り組みについて」

（2）地域活性化支援事業（新規事業）

地域活動の底上げを図るため、各市町村民会議及び関係団体と協働し各種事業を支援しました。

①市町村民会議との協働事業

青少年の居場所づくりと地域指導者の養成を地域の教育力再生のための働きかけをすべく、各種事業を展開し、大人と子どもの顔の見える関係づくりを支援しました。

期間	実施場所	実施団体	内容
平成20年4月1日（火） ～平成21年3月31日（火）	田辺市龍神村	田辺市青少年育成市民会議	◎地域探検◎米作り体験◎林業体験学習 ◎合気道体験学習 等

②地域の元気活動支援事業

心豊かな青少年を育むため、各種関係団体と連携し、講演会や親子料理教室などを支援しました。

期間	実施場所	実施団体	内容
平成20年7月1日（火） ～平成21年3月31日（火）	伊都管内各小中学校の通学路全域	伊都地方青少年県民運動推進委員ブロック会議	◎小中学生から募集した標語で登り旗を作成し、地域住民に啓発活動を行う
平成20年9月14日（日）	きび体育館	有田川町青少年育成町民会議	◎親子での太鼓体験教室
平成20年6月29日（日）	紀の川市丸栖コミュニティセンター	紀の川市青少年健全育成推進協議会	◎バーベキュー作り◎焼きそば作り◎意見交換
平成20年7月19日（土） ～8月31日（月）	青少年活動センター	高校生による情報誌作り実行委員会	◎高校生自身が地域を取材した記事を作成（アガサに記載）

③「地域と学校」ふれあい創出事業

家庭、学校、地域の役割を再確認し、3者が1つになって子ども達を安心安全に育てるための環境づくりを支援しました。

期間	実施場所	実施団体	内容
平成20年4月1日（火） ～平成21年3月31日（火）	白浜第一小学校周辺	はまっこクラブ実行委員会	◎稲作り◎うどん作り◎カヌー体験◎収穫祭等
平成20年11月15日（土）	黒江小学校	めだかの学校	◎震災時の応急救急◎炊き出し等
平成20年7月1日（火） ～平成21年3月31日（火）	田辺第二小学校区内	田辺第二小学校校区協議会	◎校区内の巡回指導
平成21年1月30日（金）	川原小学校	六和会	◎サインボーカルのコンサート

5 青少年活動センターの運営管理（指定管理者）

青少年が主体的、継続的に活動を展開できる利用しやすい管理運営や各種情報の収集・発信に努めるとともに、青少年活動センターを活用し、指導者や青少年を対象とした研修会を開催し、青少年活動の活性化を図りました。

今年度は活動センターの指定管理者として最終年度となるので、より一層の利用促進に向けて取り組みました。

（1）和歌山県青少年活動センターの運営

青少年団体指導者の育成と活動に関する研究や研修の場を提供するとともに、国及び都道府県・県内各地方での青少年活動の取組に関する情報の収集・発信を行いました。

利用団体数	584団体	利用者数	5,751名	(平成21年3月末現在)
-------	-------	------	--------	--------------

（2）育成活動及び団体の支援等（活動センター事業）

各種関係団体と協働し、講座を開催することで、各団体相互の連携を深め、多種多様の研修会を提供し、指導者の能力向上と青少年活動センターの利用促進を図りました。

開催日	研修内容	実施団体	参加人数
4月19日(土)	「家族そろって新入生－親も学ぼう－」セミナー（からだ）	(社)和歌山県青少年育成協会	10名
5月17日(土)	「家族そろって新入生－親も学ぼう－」セミナー（こころ）	(社)和歌山県青少年育成協会	16名
6月7日(土)	子育て教室～育てにくい子にはわけがある～	(社)ガールスカウト日本連盟和歌山県支部	21名
7月12日(土)	普通救急講習～心肺蘇生法とAEDの取り扱い～	海友会 和歌山ブロック	26名
8月9日(土)	食べて学ぼう～和食の美力とその栄養～	和歌山県BBS連盟	20名
9月20日(土)	知って楽しむ/学んで実践 ハイキング講座	日本ボーイスカウト 和歌山連盟	14名
10月11日(土)	未来のリーダーを育てるレクリエーション講座	和歌山県シニアリーダーズクラブ HOPE	5名
11月15日(土)	子育て教室～読み聞かせを学ぶ～	おはなしボランティア きいちご	20名
12月13日(土)	熊野古道のホラ貝ポイントを知って鳴らそうホラ笛づくり	熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会	22名
1月17日(土)	『スポーツと人の輪～和歌山から全国へそして世界へ～』	NPO法人 トライ	23名
2月21日(土)	～青少年に関する電話相談の現状と課題について～講習会	和歌山県青少年育成 アドバイザー会	22名
3月21日(土)	知って楽しむ/学んで実践 クラフト	和歌山県シニアリーダーズクラブ HOPE	20名

6 ボランティア活動の推進及び国際社会に対応できる青少年の育成

青少年のボランティア意識の普及・高揚等に関する事業を行うことにより、各種団体との協働・協力関係を築き、青少年のボランティア活動の支援を図りました。

また、海外からの青少年関係者の受け入れや派遣等に対する支援・協力も行いました。

【派遣】（各事業1名派遣）

開催日	事業名	内容	派遣国
平成20年11月9日（日） ～18日（火）	青年社会活動コアリーダー 育成プログラム（内閣府）	○青少年育成関連施設訪問 ○ホームステイ○意見交換会 等	ドイツ
平成20年11月21日（金） ～25日（火）	和歌山県青年国際交流派遣事業	○青少年育成関連施設訪問 ○ホームステイ○意見交換会 等	韓国

【招聘】（13名招聘）

開催日	事業名	内 容	招聘国
平成21年2月10日（火） ～2月15日（日）	青年社会活動コアリーダー 育成プログラム（内閣府）	○青少年関連施設訪問 ○ホームステイ○意見交換会 等	ドイツ、イギリス、 ニュージーランド

7 有害環境の浄化及び活動の研究・啓発等の推進

「青少年の非行防止に取り組む全国強調月間」等（7月1日～7月31日）に呼応し関係機関及び各種団体等と協調し、非行防止活動の推進に取り組みました。

さらに、育成活動に関する研究・研修会等へも参加しました。

- ①各関係機関や団体等と行動を伴った連携が図られるよう、関係者会議に出席しました。
- ②（社）青少年育成国民会議等が開催する研究集会等へ積極的に参加し研鑽に努めました。

開催日	場 所	会 議 名	主 催
平成20年5月27日（火）	国立リハビリセンター （東京都）	第69回（社）青少年育成国民会議通常総会	（社）青少年育成国民会議
平成20年10月8日（水）	奈良県文化会館（奈良県）	青少年育成施策推進体制充実強化ブロック会議	内閣府
平成20年11月27日（木） ～28日（金）	日本教育会館 ・法学館（東京都）	青少年育成施策推進体制充実強化中央研修会	内閣府
平成21年2月24日（火） ～25日（水）	伊勢シティホテル （三重県）	近畿府県青少年育成府県民会議事務局長会議	（財）三重こどもわかもの 育成財団